

令和2年度 第2回 三郷市障がい者就労支援ネットワーク会議（書面開催） 意見交換結果等について

1. 議事（2）「三郷市障がい者計画・第6期三郷市障がい福祉計画について」

ご意見など		事務局
1	原案どおりでよろしいかと思います。	
2	一般就労への移行につきまして、就労継続支援B型の支援は埼玉県障害者雇用総合サポートセンターのジョブコーチ支援を活用していただけると良いかと思っております。	活用させて頂けるよう調整してまいります。
3	パブリックコメントについて、具体的にどのように集めている（実施している）のでしょうか。	三郷市市民パブリックコメント条例に基づき、令和2年12月26日から令和3年1月31日まで実施することを広報・HPに掲載、計画（案）を市役所、市内各施設及びHPで閲覧できるように設置してました。ご意見につきましては、提出様式にて持参、郵送、FAX、インターネットにて受け付けました。
4	三郷市の「取り組むべき主な課題」において「就労支援及び福祉施設から一般就労への移行」が明記され、自立と社会参加の手段として就労を重要なテーマとして掲げていることが障害福祉サービスの実施状況における就労支援サービスの計画に対する高い実績値そして見込み量から理解できました。障がいのある方の居場所が「働く場」であることが当たり前となってきていると感じています。	
5	三郷市の障がい福祉サービスの実施状況を知ることができました。また、障がい福祉サービスを推進するための具体的な目標値を把握できました。この目標を達成するために、弊社もしっかりと支援をしていきたいと思います。また、就労後の定着支援についても、しっかりと取り組んでまいります。	

6	<p>『親亡き後』は今後ますます重要課題となると考えます。政策と共に自立に向けた本人、親、家族の意識付けも必要だと感じております。</p> <p>『生きる為に働く』という意識を持ってない方に勤怠が安定しない、長続きしない、所属することが目的となっている、目的が明確でないという傾向が見えます。その背景には親が生活の全面を担っており、本人が主体的に生活を送れてない実態があるのではないかと推測します。</p> <p>『自立』について、障がいや年齢に合わせた教育と支援の構築が重要だと考えます。</p>	<p>『親亡き後』『生きるために働く』及び就労動機は、それぞれ密接に関係しており、障がいがあるかたの自立と社会参加を考えた際に重要なテーマだと認識しています。今後、雇用・福祉・教育・医療各分野の関係機関が参加する当会議においてこのテーマに沿った議題を設定するなど検討してまいります。</p>
7	<p>市ではなく国に対してなのですが、就労継続支援B型事業所に一般就労移行目標値を設定する国の基本指針自体が却って就労の機会を奪うことになれば良いと、一般就労が難しそうな人を施設側がいずれ選びづらくなるのではと危惧します。</p>	<p>障がい福祉サービスの事業概要、対象者に沿って適正な利用が実施されるよう、留意してまいります。</p>
8	<p>自立生活援助、共同生活援助を増やして、施設入所を減らす目標はどうでしょうか？（P66）</p>	<p>ご意見として承ります。今後も当事者のかたのニーズに合わせて適正なサービスが提供できるよう努めてまいります。</p>
9	<p>妊産婦から壮年期まで様々な世代に対応する、障がい者・児の総合的な計画だと思いました。障がいがあってもなくても生きにくい世の中、自分の存在価値が危うい、不安が多いのが現状にあると思います。</p> <p>SDGs（持続可能な目標）「誰一人取り残さない」「すべての人に健康と福祉を」に関連し、課題の具体的な内容と対策や数値が提示され、計画を推進するにあたり各関係機関の果たす役割と継続した連携が重要であるとわかりました。</p>	

2. 議事（3）「三郷市における障がい者就労に関する地域分析について」

ご意見など		事務局回答
1	今後も分析、精査していただき支援に生かしていただければと思います。	
2	後ほどで構いませんので、就労継続支援 B 型事業所の状況や今後の予測（就労者が出てくるか等）の部分等を教えていただけると幸いです。	<p>現在までの当センター登録者のうち、就労継続支援 B 型事業所から一般就労に移行したかたは特例子会社が数としては一番多く、就労継続支援 A 型事業所がそれに続いており、一般就労（障がい者枠）は 5 人に満たない状況です。</p> <p>就労継続支援 B 型事業所から一般就労への移行を推進するためには関係機関や保護者のかたへ、まずは、就労継続支援 B 型事業所から一般就労への移行事例の周知を実施することなどが有効かと考えております。</p>
3	仕事をする上で困っている人や働きたいと考えている方が、就労するうえで不安を感じていることとして、「労働条件」「障がいについて」とまとめられますが、離職理由としても同様の理由が挙げられています。他の自治体でも同様の分析が得られると考えられますが、原因を解決するに至らず課題を抱えているのではないのでしょうか。労働市場で一般の被雇用者との比較や民間企業の努力のみでは難しいと考えるところでもあります。	
4	各項目における具体的な情報を得ることができました。弊社ではなるべく開示就労をすすめています。今回の分析をみて、非開示就労での離職件数が多い傾向があることがわかりました。今後も障がいを開示したうえでの就労をすすめていきたいです。また、精神障がいをお持ちの方の離職率が高いことから、精神障がいの方にはじっくりと適性を見極め、慎重に就労に向けた準備を行ってから、就職活動を実施していきたいと思います。	
5	障害者手帳所持者の年齢別の推移や働く目的についての実態を知りたいと思います。	年齢別の手帳所持者及び働く目的双方とも集計をしておりませんので、今後調査・確認を検討してまいります。

6	<p>精神分野の離職率の高さ・要因としての「基本的労働習慣課題」は精神症状悪化が直接影響している可能性があると思われ、医療側と雇用側が直接対応を検討できるようなコミュニケーションの場の必要性が顕在化してきているのだと思います。</p>	<p>表面上は「基本的労働習慣課題」が理由となっているものの、詳細にみていくと人間関係を起因として病状の悪化を招き、就労働機が低下、勤怠不安定に至ったケース、また、認知の偏りなどが原因と考えられるケースが多くあります。精神障がい者が登録者の半数を占めている現状において、今後とも密な連携をお願いできればと考えております。</p>
7	<p>三郷市の高齢化に伴って、障がい者も高齢者が増えていると考えます。就労支援センターの登録者が年々増加する中で、60歳以上ないしは65歳以上の方もいるのでしょうか。また、定年を迎えても「働きたい」という障がい者の方においては、何か方策はありますでしょうか。</p>	<p>センターの利用について年齢制限は設けておらず、60歳以上のかたが20名弱、65歳以上のかたも登録しております。方策について、仕組みというものはなく、雇入れの相談があった事業主に個別に相談し、条件緩和の上何とか就労へ結びつけているというのが現状で、希望通りに進んでおりません。今後、方策を研究すべき点であると認識しています。</p>
8	<p>障がい者就労支援の関する状況を知りました。1～3年の離職が多く、理由は基本的労働習慣によるところが、どの期間においても多く見られたとありました。病状のコントロール、ご本人の思いや自信のなさ、対人関係の困難さなど様々な要因があると思いますが、継続的な就労の難しさを改めて感じました。就労定着支援の取り組みと継続就労できている当事者の声も聞きたいと思いました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。就労定着支援の取り組み及び継続就労できている当事者の声を聞ける機会の設定を検討してまいります。</p>

3. 議事（4）「三郷市障がい者就労支援施設等事業所ガイドブックの更新について」

	ご意見など	事務局回答
1	<p>ラ・ポルタにつきまして、令和4年1月より、現在の三郷中央の分室を移転・拡張する予定です。定員は現行の8名から15名程度とします。この展開を前提として、三郷市南部にお住まいの障がい者の皆様のご期待にお応えします。また、身体障害者手帳をお持ちの皆様へのアプローチを強化します。分室の移転後の事業について、名称も変える予定です。確定ではありませんが、「ラ・ポルタ三郷中央」の予定です。</p>	
2	<p>カルディアみさとのページについて、令和元年9月時点からいくつか変更点がございます（登録者数やメールアドレス）。</p>	

3	当院利用者の方にコピーして渡すことがあります。ニーズが高いと思いますので更新をよろしく願いいたします。	
4	就労について考えたとき、何をどうするか分かりやすく書かれていると思います。写真が多く使われているのもイメージが持ちやすく良いと思いました。	
5	特に意見はありません。(3件)	

(1) 掲載機関の変更について

ご意見など		事務局回答
1	特に意見はありません。(7件)	

(2) 掲載内容の変更について

ご意見など		事務局回答
1	ガイドブックにつきまして、もし障がいをお持ちのご本人も読み手の対象になっていましたら、ルビがあると良いかと思いました。	ルビを加筆できるようレイアウトなど検討してまいります。
2	妥当かと存じます。	
3	自立する上で就労に伴う金銭管理は重要です。自ら金銭管理をする事が難しく、トラブルになってしまう可能性がある方でも安心できるよう、『成年後見制度』についての簡単な掲載もあると良いと思いました。	金銭管理の方法として、制度としましては成年後見制度及び社会福祉協議会が実施するあんしんサポートネットがありますので、情報を紹介する形での掲載を検討します。
4	特に意見はありません。(とても良い内容だと思います。)	
5	特にありません。(3件)	

(3) 配布先について

ご意見など		事務局回答
1	特別支援学校は配布しているかと思いますが、中学校や高等学校にもお配りしても良いのではと思います。	中学校や高等学校へも配布できるよう調整してまいります。
2	三郷特別支援学校	配布済みです。

3	相談窓口（市、障がい福祉相談支援センター、地域包括支援センター） 特別支援学校	市（障がい福祉課、ふくし総合支援課）、障がい福祉相談支援センター、特別支援学校には配布済みです。 地域包括支援センターへの配布を検討してまいります。
4	特にありません。（3件）	

4. その他

ご意見など		事務局回答
1	緊急事態宣言下でいろいろと大変かと思えます。まだまだ予断を許さない状況でもありますが、終息された際には支援上でご苦労されたことなど教えていただけると幸いです。よろしくお願いいたします。	終息後、改めて議題として取り上げたいと思います。
2	三郷市障がい者就労支援ネットワークのイメージ図 本人企業←特別支援学校・・・「定着支援」を【定着調査】 と変更してください。	変更いたします。
3	今後も「三郷市障がい者就労支援ネットワーク」の一員として就労支援に取り組んでまいります。関係機関の方々と連携を図り、障がいを持つ方の就労を実現していきたいと思えます。今回会議が書面開催となり、残念ながら顔を合わせてお話しすることができませんでした。コロナの感染者数が落ち着きましたら、是非参加会予定だった方にお会いしたいと思います。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。	
4	三郷市障がい者就労支援センターには長年にわたり様々な面でご協力頂き深く感謝しております。今後も是非、顔の見える関係が維持できるようネットワーク会議等含めご指導・ご協力よろしくお願いいたします。	
5	定着率や働き続けるためにモチベーションアップの支援をお願いします（色々な企画） 例）料理教室、ストレスコントロール、メンタルヘルスにおける勉強会、勤続年数に応じた表彰、趣味・サークル活動の紹介など	実施の必要性及びどの機関で行うのが適当かなど含め、検討してまいります。
6	特にありません。	